

ゲリラ豪雨
などによる **大量の雨水を貯留・浸透する**

プラスチック製
雨水貯留浸透施設 『**テンレイン・スクラム**』

天昇電気工業

天昇電気工業（東京都町田市南町田五―三―六五・天幸ビル、☎〇四二―七八八―一五五五）は、一月二十六日～二十八日まで東京ビッグサイトで開催された「InterAqua」に、プラスチック製雨水貯留浸透施設「テンレイン・スクラム」を出展し、好評を博した。



施工状況①と施工後の駐車場

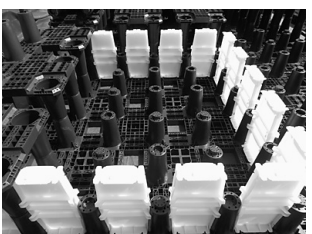
大型台風やゲリラ豪雨などによる集中豪雨が頻発する昨今、街の都市化や開発が進む地域においては雨水が河川や下水廃水へ一気に流れ込み、深刻な浸水被害を引き起こすケースが多発している。

スクラムは、駐車場や公園、グラウンドなどの地下に埋設設置するプラスチック素材の雨水貯留浸透施設。設置しておくことで集中豪雨による大量の雨水を地下に誘導し、一時的に貯留することで雨水の流出を抑制し、都市

型洪水の軽減を図ることが可能となる。

同施設は素材に再生ポリプロピレンを用いた複数の部材を組み合わせることで貯留浸透槽を構築するというもの。

本体を互違いに組み立てる独自のテンレイン・スクラム工法（特許取得済み）により、隣り合うブロックとブロックの間に160mmの隙間を四方に設けつつ、1㎡当たりの樹脂量を減らし、高い空隙率を確保。その結果、空隙率は標準でも95%以上で、競合工法と比較してもトップクラスの空隙



土砂拡散防止システム設置例



テンレイン・スクラムの本体ブロック

率を誇り、非常に高い貯留浸透槽を構築できる。

組み立てられた貯留浸透槽は強固な天地板ブロックで上下から挟み込まれているので堅牢性は抜群。貯留浸透槽のがたつきは最小限に抑えられており、ダンンプやトラックといった大型車両が走行しても微動だにしない。

貯留浸透槽を構成する本体ブロック、天地板、側板は様々なサイズが用意されているので矩形だけでなく変形での設置も可能。標準の本体ブロックの重量は5・3kgと軽量のため、施工性も極めて良好、構成部材を入

力ですぐに組み立てて貯留浸透槽を構築できる。同工法は設置後50年もの長期間使用を想定し、独自技術となる土砂拡散防止システムを開発した。専用の滞留板で滞留エリアを構築し、槽内の土砂を留め置く仕組みで、維持管理やメンテナンス性に対するニーズにも対応する。加えて雨水の流出抑制はもちろん平時の雨水の利活用にも活躍する汎用性に優れた地下施設としてのシステム構築も進めており、災害に強い街づくりに貢献する。

https://www.tensho-plastic.co.jp/